

ひな形

2023 年度

卒業論文

〇〇〇の現状と活用

ここから、論文の「前付け」部分が始まる。  
表紙はローマ数字の小文字で、i ページとなる。  
ただし、表紙は、扉となるページなので、ページ  
番号は表示しない形をとっている。

紙の表側が必ず奇数ページ番号になる。

白鷗大学 経営学部

〇〇 〇〇



## はじめに

近年、ソーシャルメディアが発達し、特に Facebook、Twitter、LINE の利用者数の伸びには目を見張るべきものがある。これらのサービスでは、情報の伝達速度も向上し、商品情報や広告もより多くの人に即座に伝わるようになった。その特性を活かし、商品の宣伝アプローチなどにも活用している企業も出てきている。

筆者は、われわれの世代で、ソーシャルメディアがどのように活用されているか、またその結果、我々にどのような影響を与えているかについて調査・研究をすることにした。おおよび調査し、考察を行った。

なお、当論文は、次の3つの章から成り立っている。

第1章では、ソーシャルネットワークの歴史の観点からアプローチした。そして、ソーシャルネットワークがどのようなアイデアから生み出され、どのような過程を経得て商品として完成したのか、—そこからなぜソーシャルメディアが人気を集めたのかを分析し~~筆者の考えを交えて~~考察した。

第2章では、ソーシャルメディアの影響の観点からアプローチした。ソーシャルメディアが誰に対しどのような影響を与えたのかを、個人、社会、世界の三つの枠に分けて人間関係やコミュニケーションの変化などについて研究した。

第3章では、ソーシャルメディアの企業的役割活用の観点からアプローチした。企業がどのような狙いがありソーシャルメディアを活用しているのか。また活用することでどのような利益を生むことができるのなどについて考察した。

2024年〇月〇日

著者

「はじめに」は奇数ページにしている。

「目次」も表面の奇数ページから書き始めるのが正式であるが、ここ

では節約して、「はじめに」の裏面の iv ページから書き始めている。

その辺は臨機応変でよい。



## 目 次

はじめに .....	iii
目 次 .....	v
第1章 ソーシャルメディアの現状 .....	1
1.1 ソーシャルネットワークの歴史 .....	2
1.1.1 ソーシャルメディアとは .....	2
1.1.2 ソーシャルネットワークの光と影 .....	3
1.2 ソーシャルネットワークの普及 .....	5
1.2.1 ソーシャルネットワークの人気の理由 .....	5
1.2.2 ソーシャルネットワークの年代別の普及率 .....	6
1.2.3 ソーシャルネットワークの活用法 .....	7
1.3 ソーシャルネットワークの課題 .....	8
第2章 ソーシャルネットワークによる影響 .....	9
2.1 個人への影響 .....	10
2.1.1 心理的影響 .....	10
2.1.2 人間関係への影響 .....	11
2.1.3 ○○○○ .....	12
2.2 社会への影響 .....	13
2.2.1 子供への影響 .....	13
2.2.2 情報の拡散 .....	14
2.2.3 ○○○○ .....	15
2.3 世界的影響 .....	16
2.3.1 コミュニケーションの場の拡大 .....	16
2.3.2 コミュニケーションの場の拡大 .....	17
2.3.3 コミュニケーションの場の拡大 .....	18
第3章 ソーシャルネットワークの活用 .....	19
3.1 ソーシャルメディアマーケティング .....	20
3.1.1 ソーシャルメディアマーケティングとは .....	20
3.1.2 ソーシャルメディアマーケティングのメリット .....	21
3.1.3 ソーシャルメディアマーケティングのデメリット .....	22
3.2 企業活動におけるアプローチ .....	23
3.2.1 宣伝方法の変化 .....	23
3.2.2 ソーシャルネットワークの活用による企業の思惑 .....	24

3.2.3	oooo	25
3.3	就職活動における企業側からのアプローチ	26
3.3.1	学生へのアプローチ	26
3.3.2	ooo	27
3.3.3	ooo	28
おわりに		29
【参考文献】		30
付 録		31

## 第1章 ソーシャルメディアの現状

章の見出しは、独立して、1ページ分の扉にしている。

ここから、論文の「本体」部分で、アラビア数字で1ページが始まる。

必ず紙の表になり、奇数ページになる。

ここでは、扉のページなので、ページ番号を表示していない形をとっている。

## 1.1 ソーシャルネットワークの歴史

### 1.1.1 ソーシャルメディアとは

最初にソーシャルメディアについて説明していく。ソーシャルメディアとは、一般的にユーザー同士で情報を交換することで成り立つメディアのことである。既存のマスメディアでは「一对多」や「一对一」の一方向の情報の受わたりであった。しかしソーシャルメディアでは「多対多」の情報のやり取りが可能となった。このことが、既存のマスメディアとソーシャルメディアの大きな違いである。

近年では、・・・

・鉄則 1：全体構成について：

表紙→はじめに→目次→第 1 章→第 2 章→第 3 章→おわりに→参考文献→付録

このうち、「表紙～目次」を「前付け」、第 1 章～第 3 章を本体、「おわりに」から後ろを「後付け」という。

・鉄則 2：ページ番号

必ず、表面には奇数ページ、裏面には偶数ページを割り振る。

・鉄則 3：

前付けは、表紙が i ページだが表示しない。裏面の ii ページから表示する。

本論の第 1 章から後ろは、アラビア数字で 1,2,3,・・・とページ番号を振る。この場合も、1 ページの番号は表示しないことが多い。

### 1.1.2 ソーシャルネットワークの光と影

表 1-1 表のタイトル

図や表は、	1 行に 1 個とし、センタリングする。
図や表は、	1 行に 2 つ以上並べない。
図解表現は、	SmartArt を使うか、PowerPoint で作る (SVG 形式)。
グラフや表は	Excel で自作し、コピーする。

図のキャプション (見出し) は、図の下に付ける。  
表のキャプションは表の上に付ける。  
大きさは 1 ポイント小さくし、ボールド体にする。  
図や表の番号は、基本的に章ごとに  
「章番号 - 何番」と振るとよい。

図 1-1 図のタイトル

文章の書き方について

レポート・論文は、心情を吐露する私的な作文ではない。  
事実を積み上げ、筋道立てて説明を行い、なるほどそうかと理解してもら  
うための文章作りである。したがって、単純な文章を接続詞で繋いで  
いく形である。

「私は、・・・」と書きたいところは、「筆者は、・・・」と書く。  
「～と思う。」ではなく、「～と考える。」「～と考えられる。」と書く。

## 1.2 ソーシャルネットワークの普及

### 1.2.1 ソーシャルネットワークの人気の理由

### 1.2.2. ソーシャルネットワークの年代別の普及率

### 1.2.3 ソーシャルネットワークの活用法

### 1.3 ソーシャルネットワークの課題

## 第2章 ソーシャルネットワークによる影響

## 2.1 個人への影響

### 2.1.1 心理的影響

### 2.1.2 人間関係への影響

2.1.3 OOOO

## 2.2 社会への影響

### 2.2.1 子供への影響

### 2.2.2 情報の拡散

2.2.3 ○○○○

## 2.3 世界的影響

### 2.3.1 コミュニケーションの場の拡大

### 2.3.2 コミュニケーションの場の拡大

### 2.3.3 コミュニケーションの場の拡大

### 第3章 ソーシャルネットワークの活用

### 3.1 ソーシャルメディアマーケティング

#### 3.1.1 ソーシャルメディアマーケティングとは

### 3.1.2 ソーシャルメディアマーケティングのメリット

### 3.1.3 ソーシャルメディアマーケティングのデメリット

## 3.2 企業活動におけるアプローチ

### 3.2.1 宣伝方法の変化

### 3.2.2 ソーシャルネットワークの活用による企業の思惑

3.2.3 ○○○○

### 3.3 就職活動における企業側からのアプローチ

#### 3.3.1 学生へのアプローチ

3.3.2 ○○○

3.3.3 ○○○

おわりに

**【参考文献】**

[1] 著者名「タイトル」出版社(出版年).

[2] 著者名 or サイト所有者「トップページの title 要素」

<https://scsie.org/> (2023年12月10日閲覧)

# 付 録